

(トラック① 手袋ビンタとわっか手コキの矯正式指導)

(右・近)

(冷淡で、どこか見下すような嘲笑を含んだ声で)
なんですか？

ご主人様…

僕にその、

パンパンに充血した

「無様な肉棒」を突きつけて

(あきれた感じで)

「今すぐ奉仕しろ、

ヤラセろ」だなんて…

執事であるこの僕に、

よくもまあ、

そんな身の程知らずな、

不敬を抜かしますね

(ふっと鼻で笑う)

前から脳みそが、

足りないとは思っていましたが、

ついに欲望の毒が回りすぎて、

知能がザコ化してしまいましたか？

(復唱する感じで)

え？

今日が何の日か分かっているのか……と？

(少し声を低くして)

ふふ、当たり前でしょう

優秀な僕が、

ご主人様の誕生日を

忘れるわけじゃないのですか

（やや右・近 耳元で低く囁くように）
加えて言うならば、
そうですね…

今日からご主人様の
「性教育」が解禁される日であることも、
重々承知しておりますよ

当家の方針に従い、
教育係であるこの僕が、
その「劣等な雄の性癖」を、
じっくりと叩き直して
差し上げることになっていますから

（中・近 蔑むように鼻を鳴らす）
なるほど、
そういうことですか

この僕に、
ご主人様の「ドロドロの汚物処理」をさせたいと、
そうおっしゃりたいのですね

そうですか
その、我慢できずに
ピクついている「下品なちんぽ」を
隠す気もない野良犬のような発情を、
僕にぶつけるおつもりですか…

（嘲笑うように）
でも、
勘違いしないでくださいね

性教育はあくまで教育の一環で、
その内容は、
専属執事の僕に一任されていますので

ご主人様が夢想しているような、
甘ったるい”ウフファハーンみたいな”
おままごことにはなりませんよ

デカパイで、
いつも仏頂面をした、

スケベな肉体のエロ執事の「おまんこ」を
ご主人様の汚い「童貞ちんぼ」で好き勝手にかき回して

びゅうびゅうと

「精液」を撒き散らして、
気持ちよくなれるなんて

(右・密着 おどすように)
そんな、
分不相応な妄想は、
今すぐ捨ててくださいね

(中・中 少し声を震わせて、悦びに浸るように)
ふう…僕の言うこと聞いてますか？

「ザコちんぼ」をヒクヒクと震わせて、
「エロいことなら何でもいいからお願い」と

僕に、その醜く反り立ったものを晒して、
そんなに精子を絞り出してほしいのですか？

本当に気持ち悪いですね、ご主人様

(優しく、残酷な響きを込めて)
いいでしょう

このご主人様の専属執事、
氷室玻璃臣(ひむろ はりおみ)が
責任を持つて、

ご主人様の
“性教育”を誠心誠意、努めて差し上げますから…

覚悟して、くださいね

（トラック② 椅子拘束と「手袋わっか」の連続射精刑）

（やや左・近）

ほーら、ご主人様

ふふっ

全裸で椅子に縛り付けられて、

ガチガチの「ザコちんぽ」を晒されて、

恥ずかしいですね

ん？何ですか？

ご主人様にこんなことして、ふざけるな？

何言ってるんですか

これも立派な、教育の一環ですよ

ご主人様のこの、

羞恥でピクピクと、ガチ勃起した

先っぽから「汚い我慢汁」を垂らしている、

劣等なエロちんぽを

今から僕のこの「手袋輪っか」で、

徹底的に教育させていただきます

ああ、

そういえば言ってませんでしたね

僕、ご主人様のこと、

「従順なマゾ」に再教育することに決めたんです

ん？分かりませんか？

マゾっていうのが、どんな「存在」か…

ふふっ、簡単に言うところの、
この恥ずかしいちゃんぽこを、
僕にいいめられて

それで、

気持ちよく「精液」を漏らしてしまう、
残念な性癖に育ててやるんです

いいめられれば、
いいめられるほど…

追い詰められれば、
追い詰められるほど…

肉棒をガチガチにして、
何度も何度も射精しまくる、
情けない「ザコ性癖」に
作り替えてやるって言ってるんですよ？

ふふっ、何ですか？
これも僕の教育方針なんですから、
逆らうことは禁止ですよ？

大体、ご主人様は、
普段から周りの者に対しての、
尊敬やリスペクトが、
あまりにも希薄すぎます

そんなことでは、
人の上に立つても、うまくいきませんから
だから僕が、
その傲慢な性格も含めて、
「快感」でキッチリ叩き直してやります

ほーら

逃げようと思っても、
逃げられませんよ？

そのガチガチちゃんぽ、

執事の僕が作った「指の輪っか」に、食べられちゃいます

（布の擦れる音）

ほーら、おちんちん

執事の手袋輪っかで、ゴシ、ゴシ、ゴシ、ゴシ

ふふっ、何ですか？

ちよっとゴシっただけで

「童貞ちゃんぽ」が大暴れして、

もう気持ちよくなってるじゃないですか

先っぽから、

エロ汁をトプトプお漏らしして、

本当に恥ずかしいですね

でも、ほら、ゆっくり

コキ、コキ、コキ、コキ

何ですか、もどかしいですか？

こーんな、小っちゃなちゃんぽー

指の輪っかをもっと狭くして、

ゴシゴシしてあげてるんですから、

わがまま言わないでくださいよ

この、オナニーにしか使えない、

恥ずかしい「半包茎の皮付きおちんちん」を

丁寧に扱き上げてやってるんですから、

しっかり「お礼」を言ってください？

（左・密着）

ほーら、ザコちゃんぽ

粗チン

情けない、よわよわちゃんぽ

気持ち悪いその粗チンで、

僕の「まんこ」を犯せると思って、
期待してたんでしょう？

ふふっ

こーんな小っちゃな粗チンと
セックスなんて、お断りです

こんな小っちゃいおちんちんは、
執事の、ほら、キツッーい握力で

もっとギュウギュウに締め付けられて、
ゴシゴシされて、

情けなくお漏らししちゃうのがお似合いなんですから

この

（ザコザコ連呼手コキ 8秒）

ほーら、まずは一発

出しちゃえ、出しちゃえゝ

僕が、

特等席で見えてあげますよ？

ご主人様の情けない粗チンから、
情けない『ザコ精子』が、

“ぴゅっぴゅ”と無様に溢れ出るところ、
ずっと見ててあげますから

ほら出せ

ほら出せ

ほら出せ！

(ドピュッと激しく飛び散る音)

あーあ、

どぴゅぴゅぴゅーって…

恥ずかしい音を立てて

童貞ザコちんぽから、

お漏らし精子、出ちゃいましたね、ふふっ

こんな風にバカにされて、

それで射精しちゃうなんて、

本当に救いようがないですね

(やや左・近)

ん？何ですか？

「気持ちよかった」って？

なーに、言ってるんですかー

まだ……

終わりじゃありませんよ？

(中・近)

ほーら、

射精したばかりの、

びしょ濡れのザコちんぽを

さらに、

ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ！

ふふっ、

なんですか？

なに腰をひねって、

ちんぽこを逃がそうとしてるんですか？

逃がすわけ、

ないじゃないですか

一回射精したくらいで、

絶対に許してなんてあげませんよ

何度でも、

何度でも、

僕が許してあげるまで、

この情けなーいザコちんぽ

いじめられまくって、

精子を何度も

無理やり搾り取られるんですから

しっかり、マゾ教育、受けてくださいね

マゾはね…

何度射精したって、

相手に許してもらえるまで、

射精し続けるものなんです

せつかく作った「ザーメン」を、

ゴミみたいに

“何度も何度も”射精させられて、
捨てられて

それでも、

ちんぽこを許してもらえなくて

苦しいのに、みじめなのに

それでも、

興奮を隠しきれなくて、また「マゾ勃起」してしまう

そ〜んな、

情けない存在なんですよ

ですからご主人様も、

そんな風にザーメンを抜き取られまくっても…

僕の指の輪っかを見ただけで、

「条件反射で勃起するようなマゾちゃんぽ」に、
仕上げてあげますね

ほーら、ザコザコちゃんぽ

もっど、

もっど、

ゴシゴシ、速度を早くして〜

また、

ちゃんぽ精子、

お漏らしさせてやりますよ

（怒りと見下し）

大体、

いつもこのちゃんぽ野郎、

気持ち悪いんですよ

執事の僕のおっぱいが大きいからって、
じろじろ見つめて、勃起して

セクハラしようとして来て、

いつも僕の「デカパイ」で興奮してたの、
丸わかりですよ

ご主人様の、

こんな小っちゃいちゃんぽで、
僕にセクハラしてくるなんて、
生意気なんです

ほーら、

普段のセクハラのお仕置きとして、
指の輪っかをさらにちっちゃくして
ちんぼのゴシゴシ速度、
もっと上げますよ

ほーら、

また、お漏らしさせてあげます

気持ち悪い、マゾの顔、

僕にしっかり見つめられながら

ザコちんぼから、

二回目のお漏らし、してください

ほら、出せ、出せ

ザコちんぼ

漏らせ！

(負けろ・ザコ連呼手コキ 8秒)

だーーせ

(激しい射精音)

あーあ、

どびゅびゅーって、

また出ちゃいましたね、

ふふっ

でーも、

ほら、

今のは、準備体操ですよ？

何ですか？

今までのが

本気だったと思ってるんですか？

ふふっ、そんな訳ないじゃないですか

こーんなの、

「本格的な手コキ」の前の、
単なる準備運動ですよ

ほーら、

〇回も精子を出して、

汚れた手袋を床に捨てて

（やや左・近）

（衣擦れの音、手袋を脱ぐ音）

今度は「生手」で、

ご主人様の粗チン、ゴシゴシしてあげますよ？

ほーら、

執事が指の輪っかを小っちゃくして

「生手まんどこ」で、

ご主人様のおちんぼ、

ズーリズリ

ズーリズリ

射精して小っちゃくなつたザコちんぼを、

指の輪っかでキューキューに締め付けて

半勃起の状態で、

「レイプ」してあげてますよ？

ほーら、

ご主人様の小っちゃいちんぼ、

僕の「生手まんどこ」に、

ズーリズリ、食べられちゃってますよ？

ああ、

こんな小っちゃいちんぼじゃ、

僕の指の輪っか、

ぜーんぜん満足出来ませんねー

ほーら、

ちゃんとした「オスちんぽ」だったら、

僕の手まんこくらい

満足させられるように、

しっかり頑張ってください？

ほーら

ズリズリ、ズリズリ、ズリズリ！

生手まんこ、

ギューギュー締め付けて

ほーら、ご主人様の汚い粗チン

童貞で、

オナニーばかりして、

全然「女のまんこ」で使う道がないザコ粗チンを、

ズリズリ抜き上げて

また、射精させようとしていますよ？

この小っちゃい金玉に、

もうザーメンなんて残ってないのに

それでも、

絞り尽くそうとしてる…

とーってもスケベな「生手まんこ」

ご主人様のちんぽゴシゴシ、

どんどん早くなっちゃってますよ？

(左・近)

ん？

「許して」

「もう出ない」？

「おちんぽが泣いてるから」

「もう許して」？

は〜？

許せるわけ、ないじゃないですか

（左・密着）

ご主人様、

“マゾ”はそんなことで根を上げたりしませんよ

マゾは、

「もっといじめて」

「もっと舐けて」

「もっと激しくして」って

いつでも相手にごびへつらって、

懇願するものです

ご主人様の限界なんて、

僕には知ったこっちゃありません

僕が満足できるまで

「ザーメン」を漏らし続けて、

恥ずかしいキモ顔、

どんどん僕に晒してください

ほーら、

シコシコ、シコシコ

ごしごし、ごしごし、

ご主人様の

ザコオナニーなんかじゃ、

絶対に届かない

熟練のテクニクを込めた

「執事の手コキ攻め」、

とっても気持ちいいですよね？

（復唱する感じで）

ん？ちんぽがもう…

取れちゃう、

ちんぽが壊れちゃう

許して、漏らしちゃう？

何言ってるんですか？

本当にさっきから、

人の話を聞かない

「ザコ粗チン野郎」ですね

ほら、

漏らしたかったら、漏らしてくださいよ

執事に手コキされて、

それでザーメンを

何度も何度も漏らさせられて

ふふっ、我慢できないからって…

「小便小僧」になるのは、

情けな過ぎて人として最低ですけど…

でも、

ご主人様がそこまで堕ちたいのなら、

しっかり見届けてやりますから

ほーら

ザーメンをお漏らしできなくなった、

小便小僧、

精子の代わりに、

僕の前で「黄金の聖水」、出してみろよ

手コキされて、

それで漏らすなんて…

人として最低のクズ野郎ですけど、

ご主人様にはお似合いですよ

ほーら、

勃起ちんぽから

出せ！

出せ！

出せ！

出せ！

(じょろじょろと放尿する音)

あーあ、ふふっ

精子が出ないからって、

しょーって、お小便出ちやいましたね、ふふっ

キモいちんぽを指先でつまみ上げて、

僕の体にかからないように…

角度を変えて「放尿」までコントロールされてる、

情けないご主人様

(やや左・近)

いいですか、ご主人様

これが「マゾになる」っていう教育ですよ

僕に性教育を頼んでくるんだったら、

こういう風に、マゾのしつけ、

たくさんしてやりますから

せいぜい、覚悟してくださいね

ご主人様が望むようなエッチなことなんて、

絶対僕には出来ませんけど

それでもよかったら、ふふっ

まーた、執事の僕に

「性教育」、

お願いしてみてくださいね、ご主人様く

（トラック③ 太ももで締め上げられる呼吸管理とおまんこ奉仕）

（中・中）

ほーら、ご主人様良かったですね

どうしても僕と、

エロいことがしたいって駄々をこねるものですから…

下着姿になった僕が、

今からそのベッドに寝そべって…

卑しい「発情顔」を晒している

ご主人様の顔面に、

僕のこの重たい「雌のケツ」で、

無慈悲に踏みつぶして差し上げますよ

（布の擦れる音）

いつもの執事姿ではなく、

こんな薄ら寒い下着姿になって…

僕の身体を

厭らしい目で舐め回して、

ちんぽをガチガチに怒張させている

本当に…

救いようのない変態なご主人様

ふふっ、

良かったですねー

普段肌を晒さない僕に

こんな格好をさせて、

今からその顔面を、

僕の「お尻」で窒息するまで

踏みにじられるのですよ？

でも、苦しくても、

吐き気がしても、

絶対に僕は、

やめてあげませんからね

（ベッドに飛び乗る音）

ほーら、

ドスケベな期待をしているご主人様に、

僕のケツを、

その鼻筋に振り下ろして〜

（中・近）

（ドサツという衝撃音）

ほーらー、

踏みつぶされてますよ？

僕の全体重を

喉元に思い切りかけて、

ご主人様の顔を、

お尻でぐちゃぐちゃに圧迫してやっています

あーあ、

気持ち悪いですね

僕の、

下着越しのお尻の感触に

顔を潰されて、鼻を鳴らして…

気持ちよさそうにして

本当に根っからの「変態」なんじゃないですか？

パンツ一丁になってるその「股ぐら」、

こっちから見てもちんぽが

反り立ってるのが丸わかりですよ

本当に恥ずかしくて、
吐き気がするほど気持ち悪いです

でも、
ほら「安心できる快感」は、
ここまでですよ？

(中・密着)
ここからは僕の重みで、
ご主人様の「息の根」を、
じわじわと止めてやりますから

(グイッと腰を押し付ける音)
ほーらほら、
息ができませんね？
苦しいですか？

僕のお尻に顔をすりつぶされて、
酸素を封じられて、
情けな…く身悶えして

あーあ、
ちんぼごがピクピクしてる

僕のお尻に圧迫されながら
「ザコちんぼ」をフリフリして、
苦しそうに酸欠で白目を剥いているご主人様

ほーら、
ご主人様分かりますよね…ふんっ

僕の「おまんこ」
ご主人様が苦しがつて、
「許してください」と懇願する姿を見て、
興奮でドロドロに融け始めてますよ

僕は「支配されるマゾ」を
いじめるのが大好きな性癖なので…

ご主人様の苦悶に満ちた顔を
見ているのが、
とーっても幸せなんです

(やや右・近 バタつく足を抑える音)
ほら、

どこへ逃げようとしているんですか？

こーんなエロいシチュエーションなのに、
逃げ出すなんて

…僕に対して失礼じゃないですか

(中・近 ゴリツ、と何かを踏む音)
ほら、

ご主人様の顔面すりつぶしながら

その勃起した「醜いちんぽ」
僕の「足の裏」で、

グーリグーリと…
踏みつけてやっていますよ

あーあ、気持ち悪い…

息ができなくて
窒息死しそうなのに、
下半身だけは不気味なほど硬くなって

執事の僕の足に、
ちんぽを踏みつぶされて、
ゴーリゴリと尿道を潰されているのに…

僕の足を裏から押し返すくらい

「不潔な勃起」をさせて、

「もっと踏んで」

「もっと壊して」って、

おちんちんが僕にねだってきてますよ？

本当に、

悍ましいですね

ほーら、ザコちんぽ

もっと、もっと、

踏みつぶしてやりますよ？

僕のケツで、

必死に空気を吸いたそうに

口をパクつかせる、

まるで「まな板の上の魚」のようなご主人様

しっかり踏み抜いて、

ザコちんぽを、

ほーら、

ゴリ、ゴリ、ゴリ、ゴリ！

あーあ、

ちんぽこ、

もう「ザコ射精」しそうですね？

執事にちょっと足で踏まれただけで、

ちんぽをヒクつかせて、

金玉を吊り上げて、

もうお漏らししそうになっているなんて、

本当に気持ち悪い男…

潰されることでしか、絶頂を得られない、
まるで「害虫」のようなキモいご主人様

僕は心底、

あなたのことが気持ち悪いと思ってますよ

でも、僕の「おまんこ」も

とーってもヌレヌレになって、

今最高に興奮しているのが、

ご主人様にもその鼻先でバレちゃって、
恥ずかしいですから…ふふっ

（中・中）

ほーら、

よく見てください？

ご主人様に乘せていたお尻を上げて、

僕は今から、

ほーら、おパンツを脱ぎ捨てて、

僕の「恥ずかしいところ」を、

ご主人様の眼前に晒してやりました

もう、

ヌレヌレでギトギトになっている、

僕の「お・ま・ん・こ」

ご主人様の鼻の先に

押し付けてやりましたよ、ふふっ

これで今から、

僕に何をされるか分かりますか？

ほーら、

今度は「おまんこの穴」を、

ご主人様の口に、直接持って行って、

（中・近）

（ベチャッ、と濡れた肉が押し当たる音）

ほーら、ああゝ

ご主人様の顔を

「おまんこ汁」で

びしょびしょに汚しながら、

完全に窒息させてやってますよ？

ほーら、

夢にまで見た「執事の生まんこ」です

ちゃんと、

僕の垂れ流すスケベな

愛液を舐め取って、

丁寧に、ご奉仕してください？

ご主人様のキモい喘ぎと、

窒息寸前の震えで、

僕、もっと興奮しちゃったんですから

(レロレロ、と舐める音)

あーあ、

舐めてるゝ

舐めてるゝ

僕のびしょびしょの穴を

必死にナメナメしながら、

ちんぽをヒクヒクさせて、

本当に気持ち悪い獣ですね

僕の「おまんこ汁」を、

ちゅーちゅーと汚らわしく吸って

どんどん…

どんどん…

気持ちよくなって、

ちんぽの勃起をさらに、

強くしているなんて、

本当に情けないご主人様…

じゃあ、

いいですよ

自分でその情けないパンツを
剥ぎ取って、

そこで「勝手にオナニー」でも…
したらいいんじゃないですか？

執事のおまんこを

舐めさせられながら

オナニーなんて、

なかなかできる経験じゃありませんよ？

ほーら、

自分でちんぽを晒して、
シコっちゃえ！

あーあ、

オナニー始めちゃった

ほーら、じゃあ

僕のおまんこを思いっきり

ご主人様の顔面に

擦りつけながら

今度は

この「太もも」でギューツと首を絞めて

ふふ

苦しそうですね

おまんこで

顔面をすりつぶされながら、

太ももで頸動脈を絞め上げられて、

息ができなくなっちゃってますねふふ

そのくせ、
自分でちんぽを握って、
ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ！

圧死しそうな恐怖の中にいるのに、
おまんこに包まれている

「卑しい快樂」で、
必死に

シコシコ、シコシコして…

最低に情けなくて、
気持ち悪いです…

でもほら、

ご主人様みたいな「ザコ」は
こうやって息をさせないように、
太ももで締め上げてやって

おまんこで

顔をすりつぶしてやるのが、
一番早く射精できるんですよ？

執事の「おまんこ汁」を
処理させられて、
それで酸欠になりながら
“シコ”って射精だなんて

人として、

ご主人様として、
とっても情けなくて、哀れですよねえっ

（ねっとり囁く）
でも、

そんなのが……大好きなんですよ？

ああ、
舐めてる、舐めてるゝ

僕のスケベなヌレヌレの穴に、
無理やり舌をねじ込んで、
必死にご奉仕して
それで自分でちんぽをシコって、
頭を真っ白にして絶頂しようとしているからっ

ほーら、
いいですよ

ご期待に応えて、
もーっと太ももを強くして、
首を締め上げながら
ご主人様の顔面で、
僕の「まんこ汁」を
ぶっ放して絶頂してやりますから

ご主人様は、
僕に合わせて射精してくださいね？

ああ出るゝゝ
ああ出る！

お股を広げておまんこを突き上げて、
ご主人様に舌で奉仕させて
それで僕の穴から、

ああゝゝ
スケベ汁が、出る、出る、出る！

(ビチャビチャと激しく溢れる音)
ほら、ご主人様の顔に引っ掛けるように、
「雌の汚汁」をぶっ放して、
溺れさせてやりますから

ほら、

ご主人様は、

自分でその「ザコちんぽ」を
シコって射精するんですよ！

一緒にイキましょう

ほら、

イク、イク、イク！

出…るっ…！

（ドピュピュッ！と激しい射精と愛液の音）

ああ、っ！

出た、出た、出ましたね〜

ご主人様の顔面にびゅびゅっと、

僕の「メス汁」をぶっかけて、

まんこでイキきってやりましたよふふっ

（ハアハアという執事の吐息）

何ですか、

ご主人様

その「ザコちんぽ」から出た、

ザーメンの量……

僕のスケベな

「まんこ汁」の量と比べたら、

10分の1くらいしか入ってなさそうな、

スカスカの射精

ふふっ、

空気を吸わせてもらえなくて、

オナニーすら口クに出来なくて、

ちんぽから情けない量の精子を飛ばして、

“なっさけなくて”恥ずかしいですね

（ふふふと喉を鳴らす）

でも、

ご主人様を

「椅子」にするの、なかなか良かったですよ

（左：密着 ゆっくりききやき）

また今度やってあげますから

今度は、ふふっ

本当に窒息死するまで

攻めてやりますから

楽しみにしていてくださいね

ご主人様

（トラック④ メスイキ矯正 ― 前立腺しつけ&デカバイブ強制メスイキ）

（中・中）

ほーら、

ご主人様良かったですね？

四つん這いにさせられて、

無様に腰を振ってふふっ

普段イカされまくっている

その「ザコ粗チン」は、

貞操帯の中に惨めに閉じ込められて

勃起することすら許されない、

とーっても情けない状態ですね

今から、

このご主人様の「雌のケツ穴」に、
凶悪なデカバイブを出し入れして

「メスイキ」ができるまで徹底的に
舐めてやりますから、

覚悟してくださいね？

マゾとして、

ケツで果てることすらできなくては、
執事の「おもちゃ」としてお話になりませんから

ん？

なんですか？

ほーら、

僕にちよつと触られるだけで、
身体がビクビク、ビクビクと痙攣して

ふふっ、指先でなぞるだけで、
もうイっちゃいそうじゃないですか

昨日も、

“あんなに、みっともなく”
喘いでくれましたよね？

僕が、

いじめ用の白手袋をはめた手で、

指を3本も…

その「開発済みのアナル」に突き刺して
ズリズリと

粘膜をかき回しながら、
前立腺射精するまで…

徹底的に痛振ってあげました…

ご主人様のケツ穴は、

ふふっ

もうこんな太いものを、

欲情して飲み込むくらい、

「スケベなビッチ穴」に

育てられてしまったんですよ？

括約筋(かつやくきん)も、

常時数センチは開きっぱなしの、

締まりの悪い「ガバアナル」に改造されて…

執事にケツ穴を騷けられ、

調教され尽くして、

とーって〜

も恥ずかしくて、情けないマゾです

ほーら、

そんなご主人様が、ふふっ

この「極太バイブ」で

ケツの奥をズリズリと抉られるだけで、

果たして「メスイキ」できるのか…

僕が特等席で、

しっかりと観察してあげますから

ちゃんとして、

メスの獣みたいに、

恥ずかしく鳴くんですよふふっ

まずは、

この「一番小っちゃいの」から行きましょうか

小さいと言っても、

直径㌦センチはあるデカバイブを

まずは僕の「口まんこ」で、

(中・密着)

ほーら、

ズリズリ、ズリズリして、

唾液で滑りをよくしてあげますよ？

(バイブフェラ 8秒)

(チュパチュパとバイブをしゃぶる音)

ご主人様の目の前で、

スケベな執事が

とろけた顔でバイブをしゃぶってゝ

まるで「おちんぼ」を

愛でるように、

ナメナメしてますよ？

ほーら見てください、

ほーらほら

(フェラ 5秒)

(やや左・中)

ふふっ…では、

準備が完了です…

僕の熱い唾液で

べっとりになったバイブを…

ほーら

今度はご主人様の

「汚いケツ穴」に、

ずっぼし、ずっぼしと

挿し込んでやりますからね

ほーら、

入るかな♪入るかな♪

毎晩、

僕が「指ちんぽ」で騎けてやった、
この「マゾアナル」に

巨大なバイブが入るか、なっ！

（中・近）

（グチュウツ！と深く挿入される音）

ああ、

なんですかこれ

ズブズブツて、

何の抵抗もなく、

根元まで

一気に入っちゃったじゃないですか〜ふふっ

そのくせ、

挿れられた瞬間に、

貞操帯の中で

勃起できないちんぽを

無理やり固くして、

自分を傷つけて、

本当に恥ずかしいですね

（バイブが激しく出し入れされる音）

ほーら、

ズボズボ、ほーら、ズボズボ！

この「ザコ用アナル」で、

しっかりメスイキできるまで

いじめ抜いてやりますから

今日はちゃんと、

「機能していないちんぽ」から、

マゾ特有の「メス汁」をお漏らしするんですよ？

ほーらほら

あーあ、

情けないですねー

恥ずかしいですねー

アナルが気持ちよくて、

「もっと太いのがいい」、

「もっと太いのじゃないとイけない」…だなんて

バイブをズボズボされながら、
さらなる暴力をねだるなんて

恥ずかしくて、

情けなくて、

気持ち悪くて、ふふっ

マゾとしては「正解」の反応ですよ

(やや右・近)

それではほら、

バイブを一旦引き抜いてー

今度はもっと

「凶悪なサイズ」にしましょうね…

ご主人様のちんぽの3倍は

太いデカバイブで、

しっかり「ケツイキ」させてあげますから

(中・近)

ほーら、

ああー

半開きになって締まりを失ったケツ穴に、
でっかいのを無理やり差し込んで！

(ビチャツ、と重たい挿入音)

あーあ、ふふっ

相変わらず、ケツ穴の抵抗度は「ゼロ」

デッカいバイブを

胃の腑を押し上げるまで

挿し込まれて、

「シホーッ」てマゾ特有の鳴き声を上げながら

気持ち悪い音を

漏らして本当にスケベですね〜

ほーら、

僕がバイブをしっかりと握って

ズコバコ、ズコバコ、ズコバコ！

「もっと掘って」

「もっと深いところまで」

「そこじゃイヤ」

「もっと奥のよわよわなところ」

前立腺の一番気持ちいい

「弱点」を、「太いので挟って」って〜

ちんぽを、

まるで「おねだり」するような、

変態娼婦のような喘ぎ方をして

本当に、気持ち悪くてザコですね

ほら、

ほら、もっと、もっと！

「ここが、いいんですよね？」

「ここを先っぽで

トントントン、と執拗に叩かれると…

全身に耐え難い快楽が駆け巡って
ザコちんぽから

「メスイキお漏らし」

したくなっちゃうそうですね？

じゃあ、

いいですよ

ほーら出せ、

ほーら出せ！

僕が見届けてやりますから、

“デッカいバイブでマゾのお漏らし”ができるところ、
僕に見せてください！

ほーら出せ！

ほーら出せ！

ほら、だ…せっ…！！

(ドリュリユツと、貞操帯から溢れ出す音)

あーあ、

トロトロって……

ちんぽから

「マゾお漏らし」を吐き出して、
本当に恥ずかしいですね

ケツ穴を

一方的に掘られただけで…

勃起もできないちんぽから、

勝手に「メス汁」を

射精しちゃうなんて

恥ずかし過ぎるとは

思わないんですか…？

そうですか

こういう屈辱が、

いいんですか……ふふっ

だんだん仕上がってきましたね、

「いいマゾ」です

じゃあ、

すっかりマゾになれたのなら、

次は「ご褒美」をあげますから、

そのつもりでいてくださいね？

(左・密着 さきやき)

どんだんマゾの深淵へ落ちて、

僕に一生、依存していいんですよ？

ね？そうでしょう

ご主人様

――

(トラック⑤ 屈辱の鏡前性交と隷属の完了)

(中・中)

ほーら、

ご主人様……ふふっ

鏡の前で、

恥ずかしい「女モノのエロ下着」を着せられて…

自由を奪われて、

縛り付けられて…

その「ザコ勃起」した無様な

肉棒をプルプルと震わせて…

本当に恥ずかしいですね…

自分の情けなくて、
みすばらしい姿を見せつけられて…
それでさらに肉棒を
硬く欲情してるんですか？

この、底辺の変態マゾ

でも、

今日はそんな

「僕の家畜」になったご主人様に…
と~~~~ておきの

「ご褒美」を差し上げます♡♡♡

ふふ

ご褒美って…

なんのことかわかりますか？

(左・密着 ささやき)

ムチ、ロウソク、それとも電流？

どれも違いますよ

(中・近)

(服を脱ぎ捨てる音)

ほーらー

お洋服を

脱ぎ捨てた…

僕のあられもない姿、

しっかり見てください？

ご主人様の前で

「完全なる裸体」を晒すのは、

これが初めてだと思いますので

その濁った目に、

しっかり焼き付けてください

完璧なプロポーションと、
冷徹な僕の顔が欲情で
少し綻んでいるこの姿、
とっても興奮しますよね？

今日は、ふふっ

この「僕のおまんこ」で、
ご主人様の汚い「童貞ちゃんぽ」、
根元まで食べてあげますよ

(左・密着 耳元で囁く)
ふふっ

なんでそんなことするのかって？

そんなの、

僕が「雌」として…

我慢できなくなったからに
決まっているじゃないですか

(中・近)

ただやりたがるだけのバカな雄は
嫌いですけど、

「マゾ」として完璧に仕上がった

ご主人様には、ふふっ

僕なりの「搾取という名の「褒美」を
くれてやるだけです

そうやって

「執事」に童貞を食い散らかされる姿を、
しっかりと鏡越しに見つめて

僕が存在を

永久に脳髓から忘れられなくて、
差し上げますからね？

(やや右・密着)

(ギューッと抱きつく音)

ほーら、

縛り付けられているご主人様に、
全裸で密着して

ほら、気持ちいいですね？

僕の肉体は

とっても柔らかくて、

おっぱいもこんなに大きくて

そんな「スケベな雌の体」に抱かれながら、
今からおちんぼを、

生け贄として捧げるのですよ

(中・近)

ほーら、

もう目がハートマークになって、

卑しい「エロマゾ顔」を晒しているご主人様…

(中・密着)

(深いキスの音、唾液の音)

きしゅ、きしゅ、きしゅ、はぁっ

(キスフェラ 10秒)

(中・近)

ほーら、温まりましたか

今から「童貞卒業」です

いいえ、

ご主人様の童貞は、

僕の「食欲なおまんこ」で

食い散らかしてやりますから、

覚悟してくださいね？

(ぬちゃぬちゃと愛液をぐすりつける音)
この、

鏡に映る自分の情けない姿を見て、
ガチガチに反り立っている

「恥ずかしい粗チン」を

僕の穴で、ぐちゃぐちゃにしてあげますから

ほーら、

僕のヌレヌレのおまんこを

ご主人様のちんぼの先っぽにぐすりつけて、

おちんぼゴシゴシ、

おちんぼゴシゴシ、

僕の愛液と、

ご主人様のスケベな我慢汁が混ざって、

“ぬっちゃぬちゃ”と

エロい音がしますよ

今からこの「雌の穴」で、

おちんぼを

まるごと飲み込んじゃいますから

しっかり見ててくださいね？

(ズブズブ、ズドン！と深く腰を下ろす音)

ほーら、ゆっくり腰を落として

あ、っ、入った、

ご主人様の

「未熟な童貞ちんぼ」が、

僕の「淫らな生おまんこ」に食べられちゃいましたよ、

(トロトロ、と溢れ出す音)

あーあ、ふふっ何ですかこれ？

挿れた瞬間に

トロトロって、

お漏らし射精しちゃってゝ

期待通りの「ザコ反応」ですけど、
なかなか良く騎けられたマゾです

童貞ちんぽを

食われただけで即射精なんて、
本当によく出来てます

(激しく腰を振る音)

でも、

ほら射精したばっかりの

敏感なちんぽを

僕の穴でしっかり締め付けて、
お尻を上下に激しく振って

パコパコ、パコパコ、パコパコ！

ほら、主人様を童貞卒業させた

「執事のおまんこ」に、

ちんぽをギチギチに締め上げられて、
今、パコパコと犯されているのですよ？

(さらに速度を上げる)

せめて二回目なんですからゝ

今度はまともに

ちんぽをおっ立てて、

限界まで我慢してくださいね？

僕の、

このスケベな穴をキューキューと締め付けてゝ

パコパコ、パコパコ、パコパコ！

(やや左・密着さきやき)

ほーら、

ちんぽを煽ってもっと、

もっと狂わせてあげますから！

(左・密着)

ザコ、粗チンキモい弱虫ちんぽ

童貞卒業させられた瞬間に、

お漏らしするなんて

「雄」としての実用度ゼロの、

オナニー用の粗チンバカちんぽー！！

(激しい肉のぶつかる音)

こっやって、

僕におまんこをへこへこ振られるとく

ふふっ…ちんぽが泣き続けて

僕に逆らうこともできない、

クソザコちんぽ

(中・近)

ほーらザコ、

ほーらザコクソザコー！！

(ザコザコ連呼 パコパコ10秒)

おまんこの中で、

ビクビク震えることしかできない

「ザコザコ粗チン」ー！！

ほーら、

その恥ずかしい粗チンで、

またお漏らし決めちゃいそうですか？

(腰の速度を限界まで上げる)

もう、腰の速度をパンパンに上げてく

ほら、

執事に好き勝手に

ちんぽを出し入れされて、

笑われちゃってますよ？

そんな屈辱で

気持ちよくなつて、

また…お漏らし射精させられたんですか？

じゃあ、

いいですよ

「二回目の射精」、許可してあげます

僕のおまんこの中に、

たーくさん“びゅうびゅう”と出してください

ほら、

ザコ、ザコ、ザコ、ザコ…！

ほーら出しちゃえ！

ほーら出しちゃえ！

ザコちんぽから、精子発射！

3、2、1

ほら、だ…せっ…！！

(トピュトピュトピュッ！と連続する射精音)

あーあ、

二回目だっていうのに、

どっぴゅどっぴゅ、

どっぴゅどっぴゅ…

執事の「メスの穴」の中に、

好き勝手に射精して、いっ

とーっても「よわちん」ですね、ご主人様

(中・近)

(ふはぁ、と熱い吐息)

ほーら

セックスが終わったら

「隷属のキス」ですよふっ

どうせキスだって、

さっきのが「ファーストキス」だったんでしょ？

人生の全部の「初めて」、

僕に奪われちゃえ、ご主人様

(中・密着)

(ねっとり絡みつくキスの音)

んん、んちゅ、ちゅぱ

(キスフェラ 5秒)

(中・近)

じゃーあ、ふっ

もっともっと、

ちゃんとマゾができれば、

まーたおまんこで

「いじめて」あげますから、

ちゃんと僕の「いい子」になるんですよ？ご主人様

ふっ

僕は「僕に依存するマゾのご主人様」が
大好きですから

もっともっと、

僕が大好きでいられるような

「無力なご主人様」で居てくださいね？

だって、

そっちのほうが気持ちいいんでしょう？

ご主人様も……

ふっこの「ザァー」

(中・中)

(場面転換：後日、日常の調教風景)

ほーら、ご主人様？

いつもの「ご奉仕」、始めますよ

準備してください？ふふっ

あーあ、

指示もしてあげていないのに

勝手に全裸になって、ケツ穴を突き出してふふっ

「掘ってください」

「いじめてください」という

「敗北マゾポーズ」

とーっても情けないですけど、

よく躡けられた「最高の家畜」ですね

そんなマゾにはほーら、

僕の特注の「ペニバン」を付けてふふっ

毎日のように抱いてあげますよ

今日は一段と激しく、

「雌」にして差し上げます

(ペニバンの装着音、ゴムの弾ける音)

ほーら、

もう自分のちんぽの何倍かも

わからないくらい

でっかい僕の「ペニバンちんぽ」を受け入れて、

今日もいき狂っちゃってください

ほーら、腰を掴んで…

執事の僕の「擬似ちんぽ」、挿入ー！！

(ドスッ!と重たい挿入音)

あーあ、

さすがです、ご主人様

入れられた瞬間に

「オホッ、オホーッ」て、

最初の「メスイキお漏らし」ふふっ

挿れられた瞬間に

射精できるマゾなんて、

なかなかりませんよ、ご主人様

ほら、ケツを掴んで、

腰を激しく振って

思いつきり

がん掘り、がん掘り、がん掘り!!

ご主人様の情けないケツ穴を

、僕のペニバンで執拗に掘ってやっていますよ?

ああすこい♡

ああすこい♡

どんどんケツを振る速度が早くなってる、

ご主人様にちんぽを

打ち付けるたびに、

僕のおまんこまでキュンキュンして♡

とっても興奮してますよ、ご主人様

ん?何ですか?ふふっ

「一緒にイってほしい」?

僕のペニバンで掘られながら、

僕の本物のおまんこも一緒に

イってほしいだなんて、

とっても欲深いドMですね

でも、いいですよほら、

一緒にイッてあげますから

ご主人様のこのケツ穴を

ゴリゴリに汚して〜

執事の僕を絶頂させてくださいね？

ほーら、

ペニバンちゃんぽから、

ご主人様の気持ちいい「強制射精」まで

ほら、ケツを振り続けて、導いてやりますよ

ほーら、イキます

さーん！ー！

ああ、

ご主人様のちんぽケツを握られて、

出番なんてないくせに

情けなく媚びるみたいに

へこへこフリフリ、

射精に備えて震えてますねふふっ

もう勃起する能力も残っていない

「クリザコちんぽ」から、

お漏らし発射まで、

もうすぐですよ

にーいー！

ああ、ほら、

僕のペニバン、

“ごんごんごんごん”

速度が早くなっちゃってますよ

ケツをへこへこへこ振って、
フィジカルつよつよの執事に
「ケツまんこ」を犯されて、そのまま「雌」として
負けちゃってください！

いーちー！

ほらイク、
ほらイク！

ご主人様の全身に、
恥ずかしくて、情けなくて
それでいて逃げられない快樂が、
回ってきちゃいましたね

執事の僕に犯されて、
そのまま「マゾイキ」してください！

ほーら
ゼロ！
ゼロー！
ゼロー！！

ほーら、
イキ狂え、ご主人様っー！！

(トピュトピュトピュトピュッーと激しい射精音)
あーあ、
どっぴゅどっぴゅ
お精子をお漏らしして、ふふっ
「メスイキ絶頂」、
お疲れさまでした、ご主人様

そーんなに僕に掘られるのが、
気持ちよかったですか？

(ペニバンを引き抜く音)

ほーら、

バックからちんぽを抜いてご主人様を
ベッドに押し倒して

(中・近)

(ドサツ、と押し倒す音)

ほーら、

全身の体重を

ご主人様に預けながら「ご褒美」のエロキスです

(中・密着)

(深く、粘り気のあるキス音)

んんーっ、れろっ、んちゅ、じゅぶ

(キスフェラ 10秒)

(中・近)

ふふっ今日もよく

頑張りましたね、ご主人様

マゾができて、とつても「偉い」ですよ

これからも僕が、

ご主人様のことを徹底的に

舐けてやりますから

僕だけの「専用のザコマゾ」じゃなきゃ、

嫌ですよ？

僕たちは、

とつても相性バッチリなんですから、

これからもぜーったい離れませんよ？

そうでしょ？ご主人様ふふっ

絶対・絶対・絶対・絶対・絶対・絶対・絶対・

ぜーっったい、放しませんからね